

ねぎらい

処遇改善に関する取り組み



1. 入職促進に向けた取組

- ◆ 法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化

💡 ホームページ公開

- ◆ 他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築

💡 主婦、中高年齢者等、現在75歳の方も現役で勤務している。幅広い年齢層の採用に努めている。

2. 資質の向上やキャリアアップに向けた支援

- ◆ 研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動

💡 資質向上のため、個別研修や施設外研修会への参加



3. 両立支援・多様な働き方の推進

- ◆ 有給休暇が取得しやすい環境の整備

💡 年5日以上OfYear消化。有休休暇を希望時に取得出来るように、勤務表やシフトの調整を実施

4. 腰痛を含む心身の健康管理

- ◆ 福祉・介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、介護ロボットやリフト等の介護機器等導入及び研修等による腰痛対策の実施

💡 腰痛予防研修会開催。腰痛膝痛がある時は、シフト調整実施。

- ◆ 短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施

💡 定期的健康診断。産業医を配置し、ストレスチェック、職場環境に努める

- ◆ 事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備

💡 マニュアル作成・定期的見直し実施、定期的に事故防止委員会開催し周知を図る

5. 生産性向上のための業務改善の取組

- ◆ タブレット端末やインカム等のICT活用や見守り機器等の介護ロボットやセンサー等の導入による業務量の縮減

💡 タブレット端末を使用し、事務業務の削減・効率化を図る

- ◆ 5S活動(業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの)等の実践による職場環境の整備

💡 5S活動による職場環境の整備を実施

- ◆ 業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減

💡 各利用者へ処遇内容変更や業務連絡等、ヘルパー間での情報共有のためグループLINEを活用

6. やりがい・働きがいの醸成

- ◆ ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の福祉・介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善

- ◆ 利用者本位のケア方針など介護保険や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供

- ◆ ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供

💡 毎月のヘルパー会議内で、ケアの内容の改善や方針、様々な事例等情報の共有を実施したり、介護保険等定期的に学ぶ機会を設けている。